

候補者

木越 渉

(一九五七年四月十二日生)

きごし

わたる

■所属

第十一組 光専寺

■所在地

石川県かほく市高松フ五十六番地

■被選挙資格の区分

住職（宗議会議員選挙条例第2条第1項第1号）

■立候補の趣意

教区と組の教学教化に長年関りを持つ中で、多くの朋友を得ることが出来、今まで宗政に携わって参りました。
本山において、宗門全体の教化の連携と連動を実現できるよう、勤めてまいりました。「真宗教化センター」の立ち上げと初動を行わせていただき、教化現場の多くの情報を宗門全体で共有できるようになりました。今後は、どのような情報が必要とされているのか、更にアンテナを張り、集約と発信を続け、より手に取っていただけるよう、工夫をしてまいります。
さて、現在のコロナ感染による混乱と自粛は、社会全体の体力の減退に拍車をかけています。また、宗門教勢の下降傾向は実感として宗門内に広く共有されています。「新型コロナウイルス感染症の影響下における寺院の教化活動の工夫に関する調査報告」の中では、寺院の門徒離れの危機感と同時に、門徒の「お寺で仏法が聞きたい」という気持ちが強くと示されています。
「寺院に門徒が来ないこと」が日常とならないよう、一つの寺・一人の門徒に届く、新たな時代に適応した「念仏の僧伽を求めて集まること」が出来る場の回復」を目指すことが喫緊の課題であると強く感じ、対策に努めます。

① 人の誕生と場の創造

② 教学振興と教化推進に注力できる機構への再構築

③ 組織機構の縮充化を目指す。

宗門にとって「人の誕生と場の創造」は不変の目標であります。場によって人が誕生し、その人が新たな場を創造する。この繰り返しですが、宗門が大切にすべき営みです。
この困難な状況下であるからこそ、この営みが途絶えないようにしなければなりません。しっかりとした、かじ取りができるよう、努めてまいります。

■経歴

昭和五十七（一九八二）年大谷大学修士課程修了
真宗学院指導・仏教青年連盟委員長・教区青少年教化小委員会幹事
教区僧侶研修小委員会幹事・教区教学研究室主任研究員
教区会議員・宗議会議員・参務
現在 真宗興法議員団宗政調査会長

候補者

井上 裕

(一九六五年四月十五日生)

いのうえ

ひろし

■所属

第七組 光徳寺

■所在地

石川県金沢市玉川町六番九号

■被選挙資格の区分

住職（宗議会議員選挙条例第2条第1項第1号）

■立候補の趣意

現代社会には、人間の理性では解決できない多くの課題があります。
そこにコロナ感染症が混乱に拍車をかけ、私たちは出口の見えない迷路のように、孤独と不安の中を懸命に生きています。そのような社会状況下、報恩講をはじめ、法事や葬儀など、これまで当たり前としていた寺院活動ができなくなっている今、お寺や僧侶の本来的役割が問われています。
これまで教区の教化活動に携わってきましたが、若手僧侶はこの現実にこれからのような教化活動をしていけばよいのか、そこには悩み苦しみながら模索している姿があります。これからの宗門を担うこのような若手僧侶が、宗門に対し熱い思いを持ってもらえるように、本山との教化体制の連携を図っていききたいと思います。
現在人口減少に伴い地方の過疎化が大きな社会問題として取り上げられます。それと共に、仏事の疎遠化や簡略化が急速に進む現状に大きな危機感を抱かずにはおれません。私たち真宗門徒は、いつの時でも、ご本尊を中心とした生活がありました。共によるこび、共に悩む朋友との出あいをよろこび、生きる拠りどころを仏法に尋ねてきました。二〇二三年に宗祖親鸞聖人御誕生八百五十年・立教開宗八百年慶讃法要をお迎えます。この勝縁を私たち真宗門徒にとりまして、何より聞法の間を回復するため、次世代へ途切れることなく、教えを手渡していく、そういう法縁にしていかなければなりません。御門徒の方々の熱い御懇念に応えられるよう、宗政に参画していききたいと思います。

■経歴

昭和四十（一九六五）年生まれ
平成元年（一九八九）大谷大学真宗学科卒業
光徳寺住職
研修部常勤補導
金沢真宗学院指導
金沢教区第七組組長
金沢教区教区会副議長
金沢教区真宗同朋会推進会議幹事

候補者

坂本 敏朗

(一九四七年六月二十日生)

さかもと

としろう

■所属

第四上組 開成寺

■所在地

石川県白山市宮永町三八〇番地

■被選挙資格の区分

住職（宗議会議員選挙条例第2条第1項第1号）

■立候補の趣意

寺門を取り巻く環境が激変する昨今の状況にあつて、これまで同様の取り組み方では、本山・教区・組・寺院の宗門全体組織をより良く次世代へ継承・発展させていくことは困難であると考えます。果てないコロナ禍を教訓に加えながら、どこまでも「一人の念仏者の誕生」を願いとする教化活動を基本として取り組まれる宗務改革の推進に向けて微力ながら努めてまいりたいと、引き続き立候補いたします。
一、二〇二三年にお迎えする「宗祖親鸞聖人御誕生八百五十年・立教開宗八百年慶讃法要」と教区の「宗祖親鸞聖人七百五十回御遠忌法要」の円成を期し、さらなる同朋会運動（聞法）躍進の勝縁とならんことを願う。
一、組を基軸とした教化活動を更に拡充していくための方策や、地域の特性を生かしたより活力ある教区運営（寺院活性）が可能となるような制度設計を求めたい。
一、現宗憲制定から四十年を経て、改めて諸課題を洗い出して検証すべきと考える。
一、国内の別院について、地域における教化拠点（場の創造）として復興すべきと思う。
一、海外開教（沖縄を含む）について、これまでの取り組みを検証し直し更なる積極策を望みたい。

■経歴

一九四七年六月二〇日生 七四歳
一九七〇年三月 大谷大学仏教学科卒業
一九九〇年九月 開成寺住職
二〇〇二年六月 第四上組組長
二〇〇四年七月 真宗大谷派教誨師
二〇〇五年五月 金沢教区会議長
二〇〇八年七月 全国教区会正副議長会長
二〇二〇年四月 石川県教誨師会長

告 知 事 項	
1 選挙発令の告示 金沢選管告示第3号 2021年8月21日 金沢選挙区選挙管理会 印 このたび、宗議会議員選挙条例第36条により下記のとおり発令されたので告示する。 記 1 選挙の期日2021年9月13日 2 選挙人名簿の縦覧期間2021年8月23日から8月26日まで 3 異議の申立期間2021年8月23日から8月26日まで (選挙人名簿登載事項に関する本人からの異議申立) 4 立候補の届出期間2021年8月30日から9月1日まで 5 選挙運動の期間立候補届出の日(受理後)から9月9日まで ----- 内達第6号 真宗大谷派宗憲第24条及び宗議会議員選挙条例第30条により、2021年9月13日に宗議会議員の総選挙を施行する。 2021年8月20日 宗務総長 但馬 弘 以 上	4 無投票の告示 金沢選管告示第7号 2021年9月1日 金沢選挙区選挙管理会 印 来る2021年9月13日施行の宗議会議員選挙は、宗議会議員選挙条例第88条により投票を行わない。 以 上
2 選出すべき議員の定数3人	
3 候補者の告示(掲載は届出順) 金沢選管告示第4号 2021年8月30日 金沢選挙区選挙管理会 印 来る9月13日施行の宗議会議員選挙に下記のとおり立候補の届出があったので、宗議会議員選挙条例第39条第1項により告示する。 記 1 候補者の氏名木越 渉 2 所属する寺院・教会の名称光専寺 3 所在地石川県かほく市高松フ56番地 4 推薦届出人の氏名井上 譲 以 上 ----- 金沢選管告示第5号 2021年8月30日 金沢選挙区選挙管理会 印 来る9月13日施行の宗議会議員選挙に下記のとおり立候補の届出があったので、宗議会議員選挙条例第39条第1項により告示する。 記 1 候補者の氏名井上 裕 2 所属する寺院・教会の名称光徳寺 3 所在地石川県金沢市玉川町6番9号 以 上 ----- 金沢選管告示第6号 2021年8月30日 金沢選挙区選挙管理会 印 来る9月13日施行の宗議会議員選挙に下記のとおり立候補の届出があったので、宗議会議員選挙条例第39条第1項により告示する。 記 1 候補者の氏名坂本 敏朗 2 所属する寺院・教会の名称聞成寺 3 所在地石川県白山市宮永町380番地 以 上	